

民有林直轄治山事業 平成24年度実施地区概要

- 1 地区名 さくらしま ちく
桜島地区
- 2 地区概要 当地区は、昭和47年以降の桜島の火山活動激化に伴い、林地及び溪流の荒廃が進行、降雨時には多量の不安定土砂が土石流となって流下し、下流に甚大な被害が発生している。
噴火活動により、現況が常に変貌する火山性荒廃地の復旧に当たっては、高度な専門技術が要求されること、また、土石流対策等が必要な荒廃溪流は多数に上り、大規模な治山対策が必要なこと等から、鹿児島県や地元からの要望を踏まえ、昭和51年度から直轄治山事業を実施している。
- 3 事業箇所 鹿児島県鹿児島市
- 4 施行面積 2,430ha
- 5 事業計画期間 昭和51年度～平成30年度
- 6 全体計画額 56,014百万円
- 7 主要工事計画 山腹工187ha、溪間工1,587基
- 8 主な保全対象 人家1,950戸、農耕地610ha、国県道14kmほか
- 9 概算決定額概要
 - (1)事業費 1,010百万円
 - (2)国費 854百万円
 - (3)H24工事計画 山腹工7ha、溪間工19基ほか

桜島地区民有林直轄治山事業

本地区は、鹿児島県鹿児島市に位置し、火山活動により林地及び溪流の荒廃が進み、厚く堆積した火山砕屑物が豪雨の際に土石流等となって流出している。このため、山腹、溪流荒廃地等に対して山腹工等の治山対策を実施している。

H24年度当初予算では、西道川区域等において、荒廃溪流に溪間工を施工し、溪床及び山腹の侵食を防止する。また、崩壊斜面に山腹工を施工し、斜面侵食及び拡大崩壊を防止する。これらの治山対策により、荒廃地の復旧を図り、地域の安全・安心を確保する。

全体事業費：56,014百万円 H24事業費：1,010百万円 事業内容：溪間工・山腹工

